

そこにあるもの使うもの



カワタの技術が生きています。

株式会社 **カワタ**

〒550-0011 大阪市西区阿波座1-15-15

TEL (06)6531-8211

URL <http://www.kawata.cc/>



Mixing

Temperature
Controlling

Conveying

Weighing

Drying

株主のみなさまへ

第65期 報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

株式会社 **カワタ**

証券コード 6292

さまざまな分野に貢献する カワタの機器&システム

● 医薬品
Pharmaceuticals



● 食品
Food



● プラスチック
Plastic



● セラミック
Ceramic



● 化粧品
Cosmetics



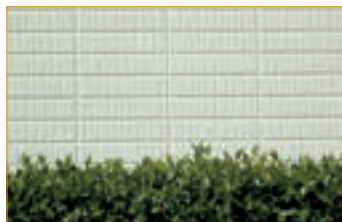
● 顔料
Pigment



● 液晶用光学フィルム
Glass for LCD



● 建材
Construction materials



● 金属
Metal



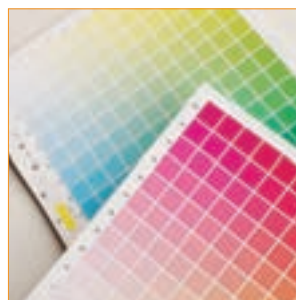
● 太陽電池
Solar cell



カワタの理想的な
ミキシング技術が、
幅広い分野と多様なニーズに、
お応えしています

KAWATA's ideal mixing technology
meets the diverse needs of a wide
range of field.

● カラートナー
Color Toner



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当社の第65期報告書をお届けするに当たり、一言ご挨拶申し上げます。

世界経済は緩やかな回復傾向ではありますが、地政学的リスクも含めて懸念材料があり、不透明な状況となっております。先進国におきましては、米国の財政問題、欧州の債務問題、高水準の失業率等、先行きに対するリスクが存在しております。一方、新興国の経済成長率も先進国と比較すると依然高水準ながら、その拡大テンポは鈍化しております。

わが国経済は、世界経済の減速や領土を巡る近隣諸国との緊張の長期化等により、前年度は景気が低迷いたしましたでしたが、当年度は円安・株高傾向が進み、自動車関連業界を中心に輸出や生産に持ち直しの動きがみられ、企業の業況判断も改善しつつあります。また、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ても、製造業の機械受注額は7～9月で前年同期比8.2%増の9,745億円、10～12月で前年同期比14.8%増の9,802億円と持ち直してきており、1月は前月比13.4%増、2月が前月比11.9%減と、緩やかな増加傾向で推移しております。

このような環境下、当社グループは、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

この結果、中国、台湾を中心とした東アジアの需要が総じて堅調に推移したこと、日本においても景気回復に伴い、年度後半は需要が持ち直したこと等により、売上高は前年同期比6億4千9百万円増（同4.3%増）の157億8百万円となりました。

損益面では、材料費を中心とした原価低減に努めたものの、前年度のタイの洪水被害の復興需要という特殊要因が無くなったことによる影響が大きく、また、中国や東南アジアにおける人件費等諸経費の増加等により、営業利益は前年同期比1億2千5百万円減（同17.8%減）の5億8千1百万円、経常利益は前年同期比1億5千6百万円減（同22.9%減）の5億2千6百万円となりました。

特別損益では、旧・大阪工場を譲渡したこと等により固定資産売却益1億3百万円を特別利益に計上したこと等により、当期純利益は前年同期比1億3千1百万円増（同68.3%増）の3億2千4百万円となりました。

世界経済は緩やかに回復しているものの、米国の金融緩和縮小による影響や新興国の成長鈍化等の下振れが懸念されております。わが国経済も、平成26年度前半は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が予想され、原油、食品等の輸入価格や資材等の物価の上昇要因もあり、本格的な景気および設備投資の回復時期は現時点では予測が困難な状況であります。

当社グループでは、かかる環境下、コア事業におきまして、生産拠点（日本、中国、東南アジア）および営業・サービス拠点（日本、中国、台湾、東南アジア、北米）相互の連携を強固にし品質、コスト、納期面での競争力を一層強化することにより、グローバル化するユーザーニーズへ対応しマーケットシェアの拡大と収益力の向上を図ってまいります。一方、高付加価値製品の開発や電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大にも積極的に経営資源を投下することにより、市場対応力のある企業として成長を続け、企業価値・株主価値を高めるとともに、コーポレート・ガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底、内部統制システムの整備・運用と改善の継続、人材の育成と強化により、経営体質の一層の強化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月27日

代表取締役社長 白井 英徳



海外生産体制

- 拡大するアジアでの需要に対応、2015年に中国新工場を竣工予定、新たな設備投資・人員増強により生産能力を向上、技術導入による高品質化および大量生産による低コスト化の両面に対応します。
- インドネシア、タイ生産拠点は現調率を高めつつ成長を図り、将来はアジア全域向け拠点へ拡大する予定です。

川田機械製造（上海）有限公司新工場（2015年）

完成イメージ



- 新工場竣工予定：2015年5月
- 面積：土地19,230㎡
- 従業員276人（2014/3現在）

- 1998年10月完成以来の海外最主力生産拠点としてプラスチック成形加工機周辺機器を本格生産
- 新たな土地を取得、分散していた既存の第1、第2、第3工場を新工場に移転集約、効率化と生産拡大を図る
- 新工場建設により生産能力は現状比倍増、売上ペースで50億円を目指す
- 粉体事業の主力機器である高速流動混合機「スーパーミキサー」の展開も本格化



第1工場



第2工場



第3工場

PT. カワタイインドネシア（2011年）



- 竣工：2011年12月
- 面積：土地900㎡
- 従業員29人（2014/3現在）

- マレーシア現地法人を清算、経済成長による大きな需要が見込まれるインドネシアに2011年に進出
- 2輪、4輪車など現地市場向け樹脂成形に用いる脱湿乾燥機と金型温度調節機等を生産
- 当初は中国より部材を輸入、現地サプライヤーを開拓し2015年までの現地調達率50%以上を目標
- 生産能力を増強後、ASEAN向け輸出を拡大予定

レイケンタイランドCO.,LTD.（2013年）



- 竣工：2013年7月
- 面積：土地1,800㎡
- 従業員17人（2014/3現在）

- プラスチック成形機周辺水機器装置を生産
- レイケンが持つ水機器ノウハウを活用、事業拡大を図る

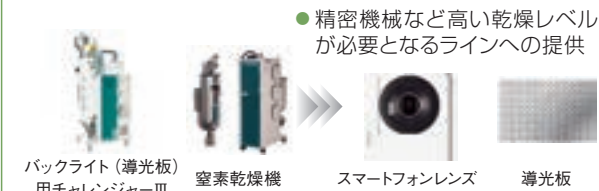
製品開発

- 高付加価値製品ニーズに応え、レンズ・液晶等製造工程、クリーン技術等に優位性を発揮します。
- 新規分野：粉体関連機器を中心に医薬品・食品・化粧品用など多分野への製品供給を拡大します。

高付加価値製品の開発

- 高い技術が求められる分野に経営資源を積極投入
- 国内で開発した高付加価値製品を順次海外投入

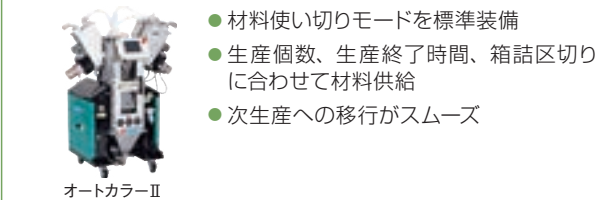
デジタル家電用乾燥機



金型温度調節機、チラー



質量計量混合機



新規分野：粉体関連機器市場の拡大

- 粉体の高速流動混合機「スーパーミキサー」は材料も多岐にわたりデータの蓄積など非常に高度な技術が必要、カワタの技術を集大成した製品
- 2010年以降、粉体機器事業を注力事業に位置づけ、多方面への展開を開始
- 「スーパーミキサー」を中心とした粉体機器群を中国においても生産体制を整備、業容拡大を図る予定



会社概要

(平成26年3月31日現在)

商号 株式会社カワタ
 (KAWATA MFG. CO.,LTD.)
 本社 〒550-0011
 大阪市西区阿波座1丁目15番15号
 設立 昭和26年7月13日
 資本金 977,142,640円
 従業員数 155名(連結731名)
 (役員 出向社員 パート 嘱託は除く)
 株主数 1,022名

主な事業所

本社 大阪市西区
 仙台営業所 仙台市太白区
 東京営業所 東京都中央区
 埼玉営業所 埼玉県川口市
 南関東営業所 神奈川県厚木市
 静岡営業所 静岡市駿河区
 名古屋営業所 名古屋市東区
 大阪営業所 大阪市西区
 広島営業所 広島市南区
 九州営業所 福岡市博多区
 三田工場 兵庫県三田市

役員 (平成26年6月27日現在)

代表取締役社長 白井英徳
 取締役 森畑秀則
 取締役 藤坂祐宏
 取締役 柴孝幸
 取締役 白石互彰
 取締役 尾崎一彰
 取締役 荒川慎一
 取締役 高塚雅博
 常勤監査役 城内重治
 監査役 内田胤哉
 監査役 軸丸欣哉



設計、開発、生産拠点 (三田工場)

カワタグループ紹介



【国内】

(株)カワタテクノサービス	大阪市西区
(株)サーモテック	大阪市西成区
エム・エルエンジニアリング(株)	静岡県藤枝市
(株)レイケン	東京都中央区
(株)カンゲン	東京都中央区

【海外】

カワタU.S.A. INC.	米国 ペンシルバニア州
カワタパシフィックPTE. LTD.	シンガポール国
カワタタイランドCO., LTD.	タイ国 バンコク市
レイケンタイランドCO., LTD.	タイ国 アユタヤ県
カワタマーケティングSDN. BHD.	マレーシア国 ネグリセムビラン州
PT. カワタインドネシア	インドネシア共和国 西ジャワ州
川田機械製造 (上海) 有限公司	中華人民共和国 上海市
冷研 (上海) 貿易有限公司	中華人民共和国 上海市
川田機械香港有限公司	中華人民共和国 香港特別行政区
川田国際股份有限公司	中華民国 台湾省 新竹市

● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	当 期 平成26年3月31日現在	前 期 平成25年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	11,936	10,598
固定資産	4,038	3,972
有形固定資産	2,949	2,916
無形固定資産	507	456
投資その他の資産	581	598
資産合計	15,974	14,570
【負債の部】		
流動負債	5,852	5,385
固定負債	3,576	3,353
負債合計	9,428	8,738
【純資産の部】		
株主資本	5,954	5,682
資本金	977	977
資本剰余金	1,069	1,069
利益剰余金	3,950	3,678
自己株式	△ 42	△ 42
その他の包括利益累計額	451	41
少数株主持分	140	107
純資産合計	6,546	5,832
負債純資産合計	15,974	14,570

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

区 分	当 期 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	前 期 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
売上高	15,708	15,058
売上原価	10,829	10,567
売上総利益	4,878	4,490
販売費及び一般管理費	4,296	3,783
営業利益	581	707
営業外収益	87	122
営業外費用	142	147
経常利益	526	682
特別利益	103	8
特別損失	1	117
税金等調整前当期純利益	628	574
法人税、住民税及び事業税	266	273
法人税等調整額	18	43
少数株主損益調整前当期純利益	343	257
少数株主利益	18	64
当期純利益	324	192

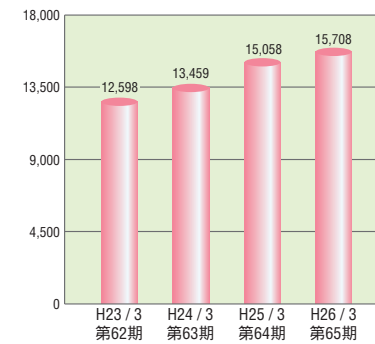
● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	前 期 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	416	1,272
投資活動によるキャッシュ・フロー	81	△ 1,144
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 375	94
現金及び現金同等物に係る換算差額	173	220
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	295	443
現金及び現金同等物の期首残高	3,769	3,326
現金及び現金同等物の期末残高	4,065	3,769

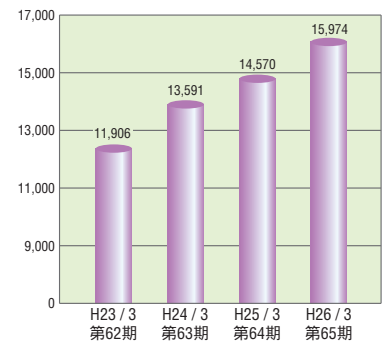
● 売上高

(単位：百万円)



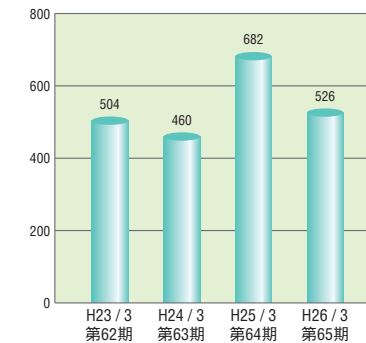
● 総資産

(単位：百万円)



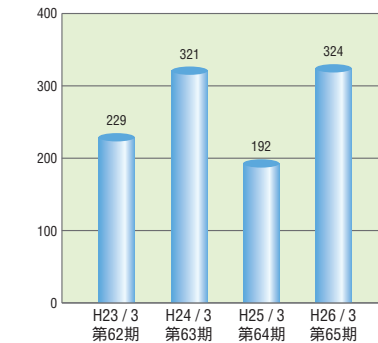
● 経常利益

(単位：百万円)



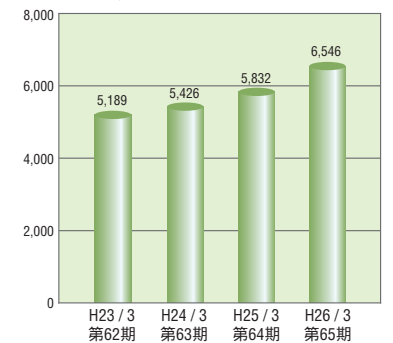
● 当期純利益

(単位：百万円)



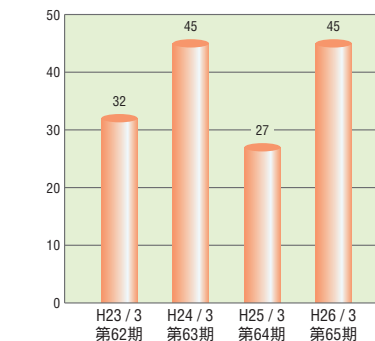
● 純資産

(単位：百万円)



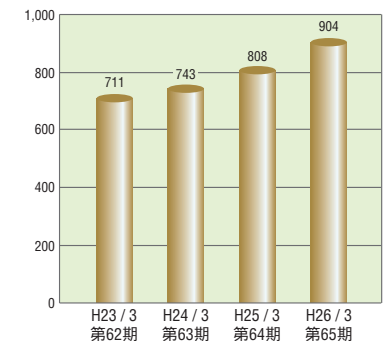
● 一株当り当期純利益

(単位：円)



● 一株当り純資産

(単位：円)



(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

株式情報

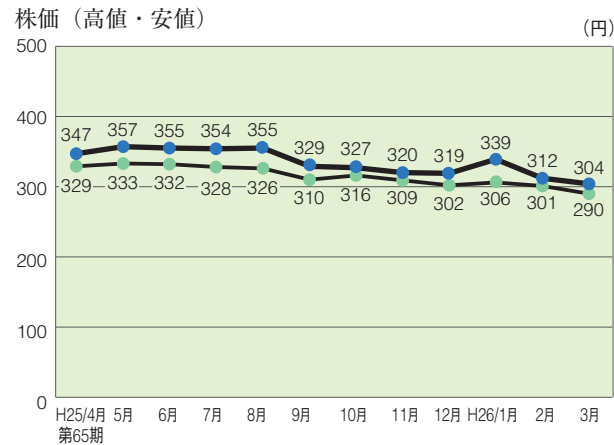
- 発行可能株式総数 20,000,000株
- 発行済株式の総数 7,210,000株
- 単元株式数 1,000株
- 株主数 1,022名
(前期末比27名減)

大株主の状況

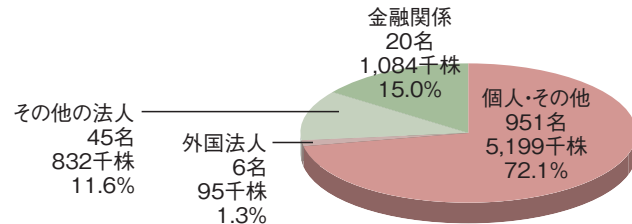
株主名	持株数
カワタ共伸会	749千株
カワタ従業員持株会	498
株式会社三菱東京UFJ銀行	351
高塚雅博	350
太田敏正	293
川田昌美	184
森川順	150
川田修弘	144
日本生命保険相互会社	123
有限会社カワタ	119

(注) 上記のほか、自己株式が126千株あります。

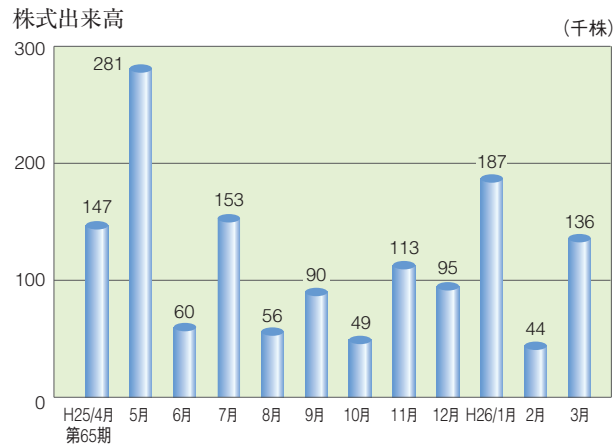
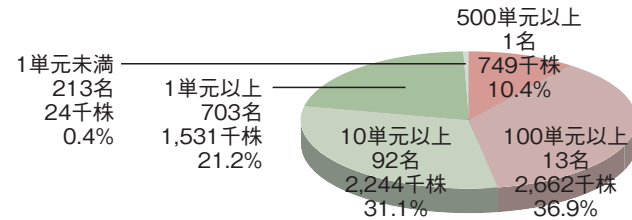
株価チャート



所有者別分布表



所有株式数別分布表



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月中
- 基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末 3月31日
中間 9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
☎0120-094-777 (通話料無料)
- 公告方法 電子公告
ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
当社ホームページ (<http://www.kawata.cc/>) に掲載
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 会計監査人 新日本有限責任監査法人

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<http://www.kawata.cc/>



トップページ



投資家の皆さまへ